

## Ⅲ 広域産業振興(農林水産部)

### 1. 取組みの基本方針（ねらい・視点）

関西広域連合では、各構成府県市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を充分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、府県市域を超えた行政組織であるという新たな視点と立場から、農林水産業を成長産業として位置付け、関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興する。

〔7分野における基本的な取り組み〕		H25要求額
広域産業振興(農林水産部)(事業費計)		2,357千円
管理費		410千円
(1) 関西広域農林水産ビジョンの策定		
└───┬───	① 関西広域農林水産ビジョンの策定	541千円
(2) 地産地消の推進		
└───┬───	② ”おいしい! KANSAI召しあがれ” プロモーション事業	520千円
└───┬───	③ “おいしい! KANSAI召しあがれ” キャンペーン事業	886千円

### 2. 事業概要

#### (1) 「関西広域農林水産ビジョン」の策定

##### ① 「関西広域農林水産ビジョン」の策定 (541千円) 新規

関西広域連合では、府県市域を超えた行政組織であるという新たな視点と立場から、農林水産業を産業分野の一翼を担う競争力ある産業として位置付け、育成・振興していく必要がある。そのため、構成府県市と協議・調整しながら、関西の農林水産業の将来像やその実現に向けた戦略などを示したビジョンを策定し、広域連合の特性を活かした農林水産業振興に努める必要がある。

#### ○ ビジョン検討組織(委員会) (仮称)

- ・開催回数：5回程度
- ・委員：学識経験者等

#### ○ 策定時期

- ・平成25年度中

## (2) 地産地消の推進

現在、各府県市における地産地消運動は、市町村や府県域を活動範囲として様々な取組を実施している。

一方、関西広域連合の構成府県市では、伝統野菜をはじめ、梨、みかん、柿などの果物、ブランド牛肉など全国に誇れる農林水産物が数多くあり、エリア内の約2,000万人の消費者にも府県域を超えて供給されている。

こうした状況を踏まえ、関西広域連合における地産地消の取組は、「まず地場産・府県産、なければエリア内産」を基本に、エリア内の特産農林水産物をより身近なものとして親しみを持って利用してもらうことにより、エリア内でのより一層の消費拡大を図る運動とし、“おいしい! KANSAI 召しあがれ”(仮称)のもと、プロモーション事業やキャンペーン事業を実施する。

### ① “おいしい! KANSAI 召しあがれ” プロモーション事業 (520千円) 新規

#### ○ 「おいしい! KANSAI 応援企業」の登録制度の創設

関西広域連合農林水産部が行う地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を、“おいしい! KANSAI 応援企業”として登録する制度を創設し、社員食堂や職員食堂でのエリア内農林水産物を使った料理の提供を通じて消費拡大を図る。

- ・ 関西経済連合会等を通じて、企業へ働きかけ(啓発用リーフレットの配布)
- ・ 広域連合ホームページでの登録企業の紹介
- ・ 登録企業へ特産農林水産物リスト及びミニのぼりの配布、旬の特産農林水産物情報を発信

#### ○ 学校への特産農林水産物利用促進のための啓発

学校給食でのエリア内特産農林水産物等の利用促進を図るため、利用可能な特産農林水産物リストをデータベース化するとともに、広域連合が構成府県市の学校給食会や学校栄養士等が参集する場に出向き、啓発を実施する。

また、生産者団体が独自に実施している他府県学校への出前授業の取組を活用し、エリア内特産農林水産物を広く啓発するため、広域連合が双方のニーズを把握し、提供元と受入先のマッチングを実施する。

### ② “おいしい! KANSAI 召しあがれ” キャンペーン事業 (886千円) 新規

#### ○ 2013食博覧会・大阪でのPR

構成府県市が出展するブースを広域連合コーナーとして集め、構成府県市連携のもと、エリア内の特産農林水産物のPRを行う。

- ・ 出展ブース共用部分の装飾
- ・ 啓発資材の作成

注) “おいしい! KANSAI 召しあがれ”とは、関西広域連合のエリア内特産農林水産物の消費拡大を図るためのキャンペーン名称

## IV 広域医療

### 1. 取組みの基本方針（ねらい・視点）

「安全・安心の医療圏“関西”」の実現に向け、「関西広域救急医療連携計画」に基づき、関西の府県域を越えた広域救急医療連携の充実・強化に向けた取組みを推進する。

〔7分野における基本的な取組み〕		H25要求額
<u>広域医療（事業費計）</u>		<u>633,520千円</u>
管理費		410千円
(1) 関西広域救急医療連携計画の推進	① 関西広域救急医療連携計画の戦略的推進	1,322千円
(2) 広域医療体制の確立	② 広域的ドクターヘリの配置・運航	630,446千円
	③ 広域災害医療体制の整備	192千円
(3) 救急医療人材等の育成	④ 救急医療人材等の育成	1,150千円

### 2. 事業概要

#### (1) 「関西広域救急医療連携計画」の推進

##### ① 関西広域救急医療連携計画の戦略的推進（1,322千円）

本計画の着実な推進を図るため、「関西広域救急医療連携計画推進委員会」を開催し、進捗状況の管理・検証を行う。

また、府県域を越えた「4次医療圏・関西」の構築に向け、新たな連携課題として、小児救急医療に係る高度専門救急医療の体制を構築するため専門部会を設置し、「高度専門医療（小児救急医療）」のあり方等について調査・検討を行う。

- 関西広域救急医療連携計画推進委員会
  - ・開催回数：3回程度
  - ・委員：学識経験者等（医療分野の有識者等）
- 高度医療専門部会（小児救急医療）
  - ・開催回数：3回程度
  - ・メンバー：学識経験者等（小児救急医療分野の有識者等）
- 推進時期
  - ・平成25年度

## (2) 広域医療体制の確立

### ② 広域的ドクターヘリの配置・運航（630,446千円）

関西全体におけるドクターヘリの効果的・効率的な配置・運航体制の実現を図るため、豊岡病院ヘリに加え連合へ事業移管した大阪府及び徳島県のドクターヘリについて、着実に運航を行う。

また、兵庫県播磨地域へのドクターヘリ導入に伴い関係機関と調整を行うとともに、京滋地域への導入について協議、検討を行う。

さらに、ドクターヘリの運航に向け、普及啓発イベントを実施する。

- 3府県ヘリ運航に対する支援
  - ・ 公立豊岡病院への事業費補助
  - ・ 運航調整委員会への参画
- 大阪府・徳島県ドクターヘリ事業の実施
- ドクターヘリ未整備地域への導入に係る協議・調整の実施
- ドクターヘリの導入に向けた「普及・啓発イベント」の実施
  - ・ 講演会
  - ・ 各ドクターヘリの愛称を活用した情報発信
- 実施時期
  - ・ 平成25年度

### ③ 広域災害医療体制の整備（192千円）

関西広域救急医療連携計画に盛り込んだ「相互応援体制」を実践・検証するため、H25年度に滋賀県で開催される「近畿府県合同防災訓練」と連携し、各府県ドクターヘリ、DMAT等の災害訓練を行う。

また、構成府県市で備蓄している薬剤等について「備蓄薬剤等データベース」を構築する。

さらに、「緊急被ばく医療」について、体制構築を図るため、関係機関等と協議・検討会等を実施する。

- 近畿府県合同防災訓練と連携した訓練の実施
  - ・ 内容：各府県ドクターヘリ、DMAT等との連携訓練
- 「備蓄薬剤等データベース」の構築
  - ・ 構成府県市で備蓄している薬剤等について「備蓄薬剤等データベース」を構築
- 「緊急被ばく医療」についての体制構築
  - ・ 「緊急被ばく医療」に係る体制構築を図るため、広域防災局とも連携を図りながら関係機関と協議・検討会等を実施
- 実施時期
  - ・ 平成25年度

### (3) 人材育成

#### ④ 救急医療人材等の育成 (1,150千円) 新規

関西広域救急医療連携計画に定めた「救急医療・災害医療体制」の充実・強化を図るため、「ドクターヘリ搭乗医師・看護師の養成」や、災害時の医療支援活動の中心的な役割を担う「災害時の医療支援を統括するリーダー人材の養成」に取り組む。

○ 「ドクターヘリ搭乗医師・看護師養成に係る研修プログラム」の作成

・内容：基地病院と連携した研修プログラムを整備・充実

(関西から「救急医療人材」を育成)

○ 「災害時の医療支援を統括するリーダー人材養成研修」の実施

・開催回数：1回

○ 実施時期

・平成25年度



## V 広域環境

### 1. 取組みの基本方針（ねらい・視点）

関西のこれまでの取組の経験や蓄積を活かしながら、「温暖化対策」と「生態系の保全」の2つを柱として、環境先進地域“関西”を目指す。

〔環境保全局の基本的な取組み〕		H25要求額
		26,458千円
(1) 関西広域環境保全計画の推進	① 関西広域環境保全計画の戦略的推進	1,599千円
(2) 温室効果ガスの削減 のための広域取組	② 住民・事業者啓発事業	2,286千円
	③ 関西スタイルのエコポイント事業	1,387千円
	④ 電気自動車普及促進事業	1,412千円
(3) 府県を越えた鳥獣保 護管理の取組	⑤ 関西地域カワウ広域保護管理計画 の推進	18,777千円
	— モニタリング調査の実施	
	— カワウ対策の推進（新）	
	⑥ カワウ以外の鳥獣対策の検討（新）	587千円

### 2. 事業概要

#### (1) 「関西広域環境保全計画」の推進

##### ① 関西広域環境保全計画の戦略的推進(1,599千円)

関西における環境分野の広域的課題に対処していくため、目指すべき姿、施策の方向性、取り組むべき施策等を定めた「関西広域環境保全計画」に基づき、各取組を推進する。  
また、有識者による事業の点検・評価等を行うことで、計画の適切な運用を図る。

#### 〔内容〕

##### ○計画の普及啓発

##### ○有識者による事業の点検・評価、計画の適切な運用

- ・ 関西広域環境保全計画に関する有識者会議の開催  
→ 計画の進行管理（会議2回開催）

##### ○新たな取組の展開に向けた施策検討

- ・ 計画推進検討チームによる検討  
→ 検討チーム会議の開催（5チーム各4回開催、(3)⑥に関連事業を別掲）

## (2) 温室効果ガス削減のための広域取組

### ② 住民・事業者啓発事業 (2,286千円)

温室効果ガスの排出削減に係る住民や事業者に対する啓発事業に広域的に取り組む。

#### [内容]

- 統一キャンペーンの企画・調整・実施
  - ・関西夏冬のエコスタイルキャンペーン
  - ・関西エコオフィス運動の展開
- 住民・事業者が主体となって取り組む新たな温室効果ガス削減対策の検討
  - ・温暖化対策に係る住民啓発の推進
  - ・環境産業展示会での温暖化対策事業のPR

### ③ 関西スタイルのエコポイント事業 (1,387千円)

関西独自のエコポイント事業の自立的実施に向けた取組と、温室効果ガス削減に資するクレジットの広域活用等に係る調査検討を行う。

#### [内容]

- エコポイント事業の原資提供企業の拡大と制度の広報
- クレジットの広域活用に向けた調査検討

### ④ 電気自動車普及促進事業 (1,412千円)

電気自動車の普及促進に向けた取組を広域的に行い、自動車・交通部門から温室効果ガスの削減を図る。

#### [内容]

- 充電マップによる情報発信とデータ更新およびシステム改善
- 充電インフラの通信ネットワークの推進
- 電気自動車を活用した観光取組の統一キャンペーン、広域観光モデルルートの提案

## (3) 府県を越えた鳥獣保護管理の取組

### ⑤ 関西地域カワウ広域保護管理計画の推進 (18,777千円)

被害が深刻化しているカワウについて、「関西地域カワウ広域保護管理計画」に基づき、カワウ対策検証事業（試行事業）や防除事例研究を実施する。

また、広域的な視点に立ったモニタリング調査によりカワウの生息動向を把握しながら、検証事業の効果を評価し、地域毎の被害対策に取り組める体制整備に繋げていく。

#### [内容]

- カワウ対策の推進
  - ・防除事例研究
  - ・カワウ対策検証事業
- モニタリング調査の実施
  - ・カワウ生息動向調査
  - ・被害状況調査および被害対策状況調査



⑥ カワウ以外の鳥獣対策の検討（587千円）新規

シカ、イノシシ、外来鳥獣等について、各構成団体での取組状況等、現状を把握し、新たに取り組むべき鳥獣および取組の内容を検討する。

[内容]

- （仮称）鳥獣対策検討会の設置（3回開催）
- 鳥獣対策検討チームの開催（3回開催）

